

平成 18 年 5 月 18 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 黒田 直樹
コード番号 1605 東証第 1 部
問い合わせ先 広報・IR エグゼクティブマネージャー 宮本 修平
電話番号 03-5448-0205

インドネシア共和国 南東スマトラ沖鉱区における天然ガス供給の開始について

当社が、子会社インペックススマトラ(株)を通じて事業を推進しておりますインドネシア共和国南東スマトラ沖鉱区において、同社ほか同鉱区生産分与契約のコントラクターからインドネシア国営電力会社 (PLN) へ天然ガスの供給・販売を開始いたしましたので、お知らせいたします。

コントラクターは、PLN に対して、2006 年から 2018 年まで、天然ガスを供給する予定となっており、供給量は、2007 年以降のプラトベースで、日量 800 億 BTU (原油換算：約 13,000 バレル) を予定しており、同鉱区内の主にゼルダエリア及びバヌワティエリアにて生産される天然ガスを、ジャワ島西部に位置する PLN のチレゴン発電所に向けて海底パイプラインにて供給することとしております。

今般のジャワ島への天然ガス供給は、同鉱区での初めての天然ガス供給プロジェクトであり、インドネシアの天然ガスの有効利用に貢献するものとなっております。また、今回の天然ガス供給の開始により、当社グループの事業基盤が更に強化されることとなります。

補足説明

① 鉱区の概要

南東スマトラ沖鉱区は、スマトラ島沖に位置し、鉱区面積は、8,282km²、ジャカルタの北西約 100km に位置しております。

② 参加の経緯及びパートナーの概要

当社の子会社インペックススマトラ(株) (資本金：4 億円、株主：インペックスジャワ(株)100%、インペックスジャワ(株)の株主及び出資比率は、国際石油開発(株)83.5%、昭石海外石油開発(株)12.5%、新日本石油精製(株)4%) は、1987 年 1 月、本鉱区の参加権益を取得し、現在、同社の参加権益は 13.067444% となっております。本鉱区の現在の参加権益保有者は、同社のほか、オペレーターの中国 CNOOC 社 (65.54%)、韓国 KNOC 社 (8.91%)、Talisman 社 (7.48%) 及び Orchard 社 (5%) となっております。

本鉱区の生産分与契約は、1968年9月に、当時のIIAPCO社が Pertamina（インドネシア国営石油会社）との間で締結いたしました。その後、2018年まで延長（更新契約）されました。

③ 原油生産

本鉱区では、既存のシンタ油田、ウィドゥリ油田等から、本年4月末現在、日量約 58,000 バレルの原油生産を行っております。

④ 当社グループのインドネシアで生産される天然ガスの国内及び近隣諸国への供給プロジェクト

当社グループにおいては、現在、国際石油開発(株)によるボンタン LNG プラント及び東カリマンタン近隣地域へのガス供給、インペックスジャワ(株)による PLN、PGN（国営ガス会社）向けガス供給、また、ナトゥナ石油(株)によるシンガポール及びマレーシア向けガス供給にも参加しております。今回のインペックススマトラ(株)による PLN 向け新規ガス供給は、これら当社グループのインドネシアで生産される天然ガスの国内及び近隣諸国への供給プロジェクトに加わるものとなります。また、インドネシアにおいては、これら既生産のプロジェクトに加え、生産に向けて現在開発作業中のタンゲーLNGプロジェクトにも参画しております。

